

# 代官山MEDICAL 卒業生の勉強法 ⑦



## ●塩飽克庸君による日本医科大学の傾向と対策 —Part1—

東京慈恵会医科大学4年 塩飽克庸君

# English

### はじめに

日本医科大学の入試問題全体に関して言うと、数学をはじめとしてなかなか高得点を取るのが困難な科目が多いといえます。確かに正規合格にこだわらないならば、さほど合格最低点は高くないといえますが、それでもどの科目もしっかりとした勉強ができていないと、3割や4割という結果になり、取り返しのつかないこととなります。数学に関しては6割で十分であるという話をきいたことがありますし、私自身、2010年度は半分も取れていなかったと思います。したがって、他の三教科の出来が重要であると思います(もちろん数学の対策も重要ですが)。特に日医は英語が手強く、石井先生が日ごろ授業で言っているような感覚で柔軟に英語に接していないと、歯が立たないです。英単語の丸暗記・訳の暗記はまったく無意味です。しっかり復習をしましょう。理科は時々変わったタイプの出題も見られますが、基本的には標準的で、物理は満点近く狙えると思います。(生物は分かりませんがとても難しいと聞いたことはありません)

## ■ 英語

### 〈傾向〉

日医の英語は長文読解が中心となり、その中で発音や語彙力・記述力など試すという形式はずっと一貫しているようです。具体的に見ていくと「内容一致」「下線部訳」「説明問題」「別の英単語に言い換える問題」「適切な動詞を選んで変化させる問題」といったところですが、毎年少しずつ出題形式は変わっているのでよく過去問を研究してください。たとえば2010年度は「適切な動詞」ではなく「語を入れてイディオムを作る」というかんじにわかりました。(こちらの方がだいぶ楽です)また、英作文の問題も出ているので、対策が必要です。

### 〈勉強の仕方〉

- ①日医の英語に限りませんがまずは授業の復習をしてください。日医でいえば特に長文・英作文の復習は大切です。長文の復習は、文章は写経して(長ければコピーでもいいです)そこにもう一回、自分自身に授業をするような感じでSVOや品詞を書き込んだり、イディオム・単語をチェックして行ってください。これは時間を取って丁寧にやってみてください。また、「この単語を別の単語でいにかえると何だろう」とか「反意語は何だろう」といったことを石井先生に言われなくても考えて調べられるようになるとなお素晴らしいと思います。(なかなかできることではないですが大切なことだと思うので、是非チャレンジしてみてください。)  
英作文の復習は、もう一度自分で書いてみたり、まずい点や必要以上にややこしく書いてしまった点などをチェックし、語彙やイディオムは吸収して行ってください。
- ②よく過去問をやって研究してください。日医の出題形式に慣れていくことが目的で、そんなに点数にはこだわらなくていいです。(これが一番難しい気がしますが)たとえば「適切な動詞を選んで変化させる」というタイプの問題は、何年分かをまとめてとくとすぐに要領がつかめます。
- ③できるだけ多く長文を読むように心がけてください。私は受験生のときは一度も単語帳を暗記しようとしたことはありませんでした。それは多くの文章に触れその中で出会った単語やイディオムを覚えていく方が効率的で印象にも残りやすいからです。私は夏ぐらいから杏林や昭和の過去問を解いたり、医療系の文章が多く載っている問題集を解いたりしていました。これも復習を丁寧にしてください。やりっぱなしはとてもったいないです。